

平成23年第2回(6月)
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	因 辰 美
2	田 川 正 治
3	本 田 芳 枝
4	浦 元 甫
5	福 永 善 之
6	久 我 純 治
7	長 義 晴
8	安 川 俊 彦
9	小 池 弘 基
10	山 脇 秀 隆

通告順 NO. 1 質問者 6番 因 辰 美

質問事項	質問の要旨	質問の相手
原町バス停について	<p>バスカット未使用について、以前から何回も指摘しているが、いまだに利用されていないし報告もない。このような対応では、一般質問の意味を果たさない。その後の対応を明確に求める。</p> <p>①現在タクシーの待機場所となっているが、この状況をどの様に思うか。</p> <p>②一般質問後、どのような対応をしたのか。</p> <p>③原町・長者原地域の交通渋滞を考えると、バスカットの使用は当然と思うが、今後の対応策は。</p>	町 長 副 町 長 都市政策部長
水害対策について	<p>近年、色々な所で未曾有の災害が発生している。粕屋町でも避難場所であるはずの大川小学校が、多々良川の氾濫で水没した。その後、多々良川の水害対策について問う。</p> <p>①多々良川の水害対策が見えてこない。その後の状況は。</p> <p>②氾濫により、大川小学校が水没し、子どもたちの命を危惧するが大丈夫なのか。</p>	町 長 都市政策部長
都市計画について	<p>粕屋町の将来を考えると、現在の都市計画では期待できない。もっと魅力あるグラウンドデザインは描けないのか。</p> <p>①市街化区域について</p> <p>②市街化調整区域について</p> <p>③農振農用地区について</p>	町 長 都市政策部長

通告順 NO. 2 質問者 3番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
東日本大震災の教訓を生かした粕屋町の防災対策を	<p>①粕屋町としての「防災と福祉の町づくり」が必要だが、地震と津波対策の方針と具体化はどのようなになっているのか。</p> <p>②玄海原子力発電所から粕屋町まで59.7kmの距離であるが、原発事故を想定しての対策はどのように考えているのか。</p> <p>③東日本大震災による被災地域に対する募金活動や、ボランティアの支援活動について、どのように取り組んでいるのか。また、被災者の町内への転入者や避難者は何人いて、受け入れ態勢や対策はどのように取り組んでいるのか。</p>	町 長
待機児童解消のため、町立保育所を存続させ認可保育所の新設を	<p>①3月議会に保護者から提出された「町立保育所を存続させ、待機児童解消のために、認可保育所の新設を」の請願署名が継続審査になり、予算執行については「7000名を超える請願の提出もあり、慎重に対応し問題解決の時まで留保する」となりました。 3月議会を受けて町として、待機児童解消のためにどのように取り組まれたのか。</p> <p>②福岡市の4月1日での待機児童は727人であり、待機児童解消のために、既存施設の改修や新築で今年度中に1100人分の定員増を計画しています。 粕屋町の待機児童は、県内では福岡市に次ぎ2番目に多く、09年10月厚労省発表では、粕屋町は63人で全国の町では、5番目に多い待機児童数です。 今年の2月1日時点では、106人の待機児童がいて、4月1日では45人になっています。 福岡市が計画しているように、今年度中に待機児童を抜本的に解消するため、国の補助金を活用して定員150人位の保育所を新築すべきではないか。</p> <p>③町立保育所の施設・設備の改善のために、予算の確保をすべきと考えるが、特に老朽化した建物の早期改修をどう考えるか。</p> <p>④臨時や嘱託職員だけのクラス担任を改善し、正規職員の配置をどう考えているのか。</p>	町 長
国民健康保険の医療費窓口負担の軽減について	<p>①国民健康保険に加入する低所得者に対して、病院窓口での減免制度の制度化を粕屋地区内の自治体間で話し合い、制度化することを検討することになっていたが、その後の進捗状況はどのようなになっているのか。</p> <p>②何時までに制度化する予定なのか。</p>	町 長

<p>後期高齢者医療制度について</p>	<p>①年金が少なく保険料を払えず、滞納した75歳以上の高齢者が、今年の1月末で「6ヶ月の短期保険証」の期限切れになった人は何人いるのか。</p> <p>②保険証の喪失者を生まないために、どのような対策をしているか。</p>	<p>町 長</p>
<p>障害者施設の建設について</p>	<p>①粕屋、篠栗、久山3町で話し合っ、篠栗町の「三つ葉の里」前に施設を建設することになっていたが、進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>②町内に障害者が宿泊できる施設や複合施設を建設する計画はどうなっているのか。</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 3 質問者 7番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
粕屋町教育行政の施策要綱について	<p>施策はどのような流れで作られ、予算とどう結びつき、その評価は。具体的には次の3点について尋ねます。</p> <p>①「粕屋町読書活動推進計画」と「子どもの読書推進計画書」について</p> <p>②中学校英語教育と関連づけた小学校外国語活動の指導作成計画</p> <p>③「放課後子ども教室」事業の実践資料の収集</p>	教育次長
待機児童対策について	<p>前回に引き続き若い家庭運営に対する支援という観点から質問します。</p> <p>①今現在の待機児童の数とその分析、対策について</p> <p>②粕屋町の今後における若い家庭の動向に施設面を重きにおいた施策で解消が可能か</p> <p>③乳幼児の発達から見た育児支援の望ましいあり方は</p>	住民福祉部長
広報「かすや」について	<p>町の施策をアピールし、町民への広報活動の中心となる広報「かすや」について</p> <p>①その編集方法は</p> <p>②今後の課題は</p>	町 長

通告順 NO. 4 質問者 14番 浦元 甫

質問事項	質問の要旨	質問の相手
電子自治体構築推進事業について	<p>施策・経過・現状・構築できた業務システム推進事業、コスト削減できたもの等の状況また、費用対効果を問う。</p>	経営政策課長
地域情報化の推進について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町民の利便性と満足度の向上とは 2. 効率的な行財政運営と電子自治体システム構築との整合性について（経営政策課一極集中を感じるが） 3. 自治体間の連携、地域情報、プラットフォーム推進と言われているが、地域連携の範囲をどう理解されているか。取組と合併との整合性を問う。 	町長
電力供給力の低下による節電対策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業、家庭で15%削減と節電の目標値が決定されたが、粕屋町行政としても節電対策の取組を進めなければならないと思うが。 2. LED街灯の導入、役場内の機器の見直し節電について 	町長

通告順 NO. 5 質問者 1番 福 永 善 之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>粕屋町がやるべき仕事とは何か?について</p>	<p>先の3月定例会でH23年度の本予算が決まりました。 しかし、同定例会期間中に、東北地方3県に大災害が発生し、復興の為の財源は多大になると言われており、今後は粕屋町に対し依存財源である国の交付金・補助金の削減・執行停止も予想されます。 今後の粕屋町の財政運営をどのように考えておられますか。</p>	<p>町 長</p>
<p>税負担の公平性について</p>	<p>あるサービスについて、ある人は、行政がサービスを行う必要性を感じていませんが、サービスの受益の有無に限らず、税負担が求められます。 「サービスを受ける者」と「そうでない者」との間で、税負担の公平性について粕屋町の考えは如何でしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>財政調整基金の見通しについて</p>	<p>今年度予算では、財調の取り崩しを2.5億円予定し、H23年度末の財調の残高予想は約8億円です。 毎年、財調を当てにした予算編成が常態化しており、粕屋町の身の丈に合った仕事量を遥かに超えているとしか思えません。</p> <p>①財調の今後の見通しについて如何でしょうか。</p> <p>②財調を当てにしない予算編成をするためには、どうしたらいいのでしょうか。</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 6 質問者 5番 久 我 純 治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>震災、水害、また、色々な自然災害に対して町全体での防災訓練が必要だと思います。防災訓練の日の制定を。</p> <p>飼犬や猫のふん害等の防止に関する条例を作るべきと思います。</p>	<p>粕屋町も平成17年3月の福岡西方沖地震また、平成20年7月24日のゲリラ豪雨での河川の氾濫や、今年3月11日に起きた東日本大震災、また、原発事故等の想定外の自然災害に出合い、自然の恐ろしさになすすべもありません。</p> <p>町全体としての防災訓練をもって唯一有事の際に役立つ事になります。</p> <p>近隣の町では、すでに飼犬や猫のふん害に対する条例が出来ています。我が町が誇る駕与丁池には、数十匹の猫がいます。「地域ねこ」という団体が活動してありますが、一日も早く町全体としての取り組みをするべきと思います。</p> <p>猫は年2回子を産むそうです。</p>	<p>町 長</p> <p>環境生活課長</p>

通告順 NO. 7 質問者 4番 長 義 晴

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>福岡東環状線道路改良事業について (都市計画道路井尻・粕屋線)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年6月末から7月初めに計画道路予定地域の住民説明会が3会場に分けて3日間行われましたが、3会場で出された意見に対する県側の回答は、どのようになっているのか。また、その回答の地元説明会の計画はあるのか。あるとすれば、何時頃予定されているのか。 2. 東環状線がJR篠栗線を横断し、九大農場跡地開発を見越して町は、新駅誘致を計画してありますが、その内容と地元自治体の経費負担はどのようになるのか。 3. 都市計画道路井尻・粕屋線道路計画予定地内の建築物の制限は工事の進捗できめられるのか。 	<p>町 長</p>
<p>浸水・災害対策について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年、一昨年の豪雨災害による道路、家屋の浸水被害頻発地域の解消を図るために、22年度より災害対策に着手されていますが、未計画地域は何割位か。また、関係区長から改修要望が提出されているもので、当座実施が遅れる箇所についての回答は行われているのか。 2. ため池（駕与丁・新大間・古大間・敷縄・他）のレベル管理の実態はどのようになっているのか。町が管理しているため池と、関係農区が管理しているため池の実態は。また、管理マニュアルの策定内容とない所は、策定する必要があるのではないか。 3. 避難場所の見直し及び、周知はどのように行われたのか。 	<p>町 長</p>
<p>歳出予算の見直しについて</p>	<p>国、地方の財政状況は厳しいと随分前から言われて来たが、3月11日に発生した東日本大震災と福島原発災害事故で更に日本経済が低迷し、財政が厳しくなるのは明らかです。よって、わが町も思い切った歳出の見直しをする機会と考えるが、執行部の考えを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 手当、各種補助金の大幅な削減、及び見直し。 (2) ひも付き補助金の事業は行わない。 (3) 自主財源及び国、県交付金で予算編成を行なう。 	<p>町 長</p>

通告順 NO. 8 質問者 10番 安川 俊彦

質問事項	質問の要旨	質問の相手
21年中国九州北部豪雨後の復旧工事と課題について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 21年7月24日の多々良川氾濫による堤防復旧工事の未改修工事の見通しと総事業費について 2. 浸水想定区域に対する基本的防災対策について 	町 長 町 長 教 育 長
地震対策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 粕屋町防災マップに見る、地震時指定避難所の見直しについて 2. 地下部の道水と炭坑坑道の現況把握と対策について 3. 津波の想定について 	町 長 " "
粕屋町地域防災計画について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災計画の目的にそった行動体制の整備について 2. 災害予防対策、災害応急対策の情報の発信による周知徹底と実行計画の検証 3. 消防団員の補充について 	町 長 " "

通告順 NO. 9 質問者 2番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町長の2期目に対する考えについて	<p>1. 今年10月には、町長選挙が行われますが、再選を含め今後の町政に対する決意を尋ねます。</p> <p>①町長の2期目に向けての考えを尋ねます。</p> <p>②今後の粕屋町における課題と、それを達成させるための問題点を尋ねます。 特に子育て支援や高齢者の福祉問題など。</p>	町 長
待機児童解消への保育所建設について	<p>1. 粕屋町の待機児童の現状と保育所建設の現状を尋ねます。</p> <p>①中央保育所の民営化の進捗状況について尋ねます。</p> <p>②中央保育所は公立として存続させて、新たに民営保育園建設の可能性について尋ねます。</p>	町 長
給食センター建設計画の進捗状況について	<p>1. 東日本大震災の影響が出ており、補助金がカットされて来ていますが、給食センター建設のスケジュール変更は有るのかを尋ねます。</p> <p>①建設検討委員会の進捗状況について尋ねます。</p>	教 育 長

通告順 NO. 10 質問者 13番 山 脇 秀 隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>今後の町財政運営について</p>	<p>東日本大震災と福島原発による社会的・経済的影響は、遠く九州の経済にも少なからず大きな影響を及ぼしてきています。国の事業においても、東北中心となり地方の自治体への補助金の見直しが相次いでいます。また、地方交付税もカットされるのではないかとの懸念も拭えません。</p> <p>こうした状況下に町のかじ取りも変更せざるを得ないところまで来ていると思われます。</p> <p>①町の財政状況は。</p> <p>②国、県の町への補助事業に対する影響とその対策は。</p> <p>③今後の財政運営の見通しは。</p>	<p>町 長</p>
<p>公立学校の施設の防災機能の向上について</p>	<p>今回の想定外の災害は、私達に大きな教訓を与えました。罹災者の避難所として、地域の学校が大きな役割を果たしています。今回の災害を対岸の火事とせず、私達の身にいつ起こってもおかしくないものと捉えて、対策を講じる必要があると思います。</p> <p>①各学校の災害時における施設の能力は。</p> <p>②行政の災害時における支援体制や訓練は。</p> <p>③緊急連絡体制は。（被災者支援システムの導入）</p>	<p>町 長</p>